

々アラウト思フ)

1. Hedwiga, XXXVIII. (Neue Beiträge zur moosflora Japan.) (1899)
2. Warburg's Monstria, I. (1900)
3. Bryales (Die Natürlichen Pflanzenfamilien.) (1901-1902)
4. 同右改訂版 (1925)
5. Musci Novi Japonici. (Overs. Fins. Vetensk.-Soc. Forhand.)
6. Musci Novi Japonici. (Annales Bryologici, vol. I.) (1928)

(恩師誕生ノ日記ス、在相州平塚)

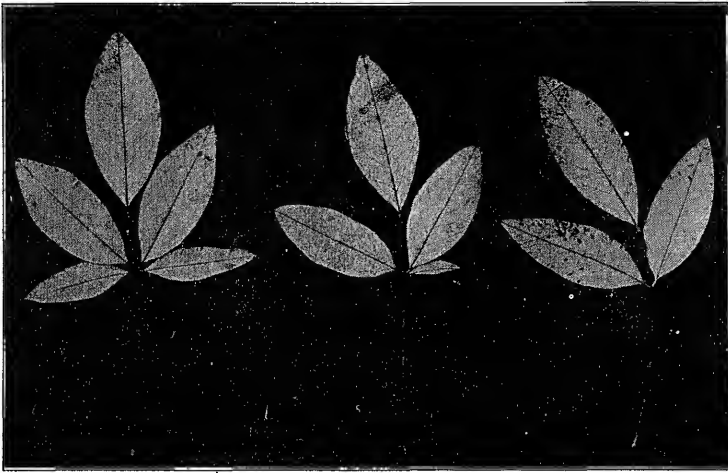
○はぎノ葉ノ形

久 内 清 孝

はぎノ葉ハ三小葉デアルコトハ當然ノコトデアツテコレハ正規ノ型デアルガ時ニハ次圖ノ如キコトモアル、コノ圖ハ徳川生物學研究所ノ靱山泰一君カラ惠與サレタモノデミヤギのはぎニ出來タモノデアルトノコトデアルガ明カニ三小葉デアルベキモノニ三小葉以上ノ葉ガ出現シテ居ル

元來三小葉デアルベキはぎノ葉ノ起原ハドノ様ニモ説明出來ルニシテモ奇數羽狀複葉ノ最モ簡單ナモノデアルコトハ考ヘ得ルコト、思ハレル、マタ考ヘ様ニヨリテハはうちはまめやうまごやしゃやぢくさうニ於ケル掌狀複葉ト關係ノアル様ニモ思ハレル然シ其何レト最深イ關係ヲ有スルカハ之ヲ斷定スルコトハ容易ナコトデナク最モ論理的ナ説ヲ以テ正説トシテ満足スルヨリ仕方ガナイ

若シ掌狀、奇數羽狀兩復葉ノ出現ノ後先^{アトサキ}ノ如キニ至リテハ我々トシテハ杳トシテ需メ難イ問題デアルガしろつ



みやぎのはぎ (*Lespedeza formosa* KOEHNE.) ノ多葉片化現象

(昭和四年五月相州鎌倉都築葛嘉能撮影)

めくさニ於テ往々出現スル四葉ノ場合ト等シキ意味ニ於テ取扱ツテ自カラツトメテ満足シテオクヨリ外方法ガナイ、ツマリ例ノ多葉化現象中ノ一現象ト見テオキ可然モノナランカ、マタコノ寫眞ノ場合ノ様ノモノデ中央小葉片ノ柄ガ他ノ小葉片ノ柄ト同等ノ長サニ短縮スルコトアル場合ヲ想像スルコトガ出來レバ其處ニ掌狀復葉ノ出現ヲ豫想シ得ルト同時ニ對生シテ居ル各對(寫眞左端)間ノ距離即チ節間ガ幾分分離シテ延長スルニ至レバ二對ノ小片ヲ有スル奇數羽狀復葉ノ發現ヲ夢想スルコトモ出來ル様ニ思ハレル何レニシテモ厄介千萬ナ代物デアル

【牧野云フ】 みやぎのはぎ一名なつはぎノ勢ヨキ主莖ニハ往々前記ノ様ナ五小葉ノ出現スルコト私モ屢之レヲ見受ケタ、其始メテ之ヲ見シハ何ンデモ今カラ凡ソ四十餘年モ前ノ事デアアル其場處ハ東京根岸ノ御院殿跡デアッタト思フ其後尙ホ他デモ見タ、其時ノ標本ガ私ノ *Herbarium* ノ中ノ何處カニハイッテ居ル、其後普通ノはぎニモ或ハ同ジヤウナ狀態ノモノガナカラウカト時々注意シテ見レドモダウシテモ此レニハ見付カラナイ、其處デ何時モ此點ダケデ見テモみやぎのはぎトはぎトハ全ク別種デアルト思ハヌ時ハナイ

又みつでかへび (*Acer cissifolium* C. Koch.) ノ氣條ニハ往々

五小葉ノ葉ヲ出スコト疾ク數度之レヲ目撃シ私ノ手許ニ其標品ガ現存スル、又みつばうつぎ (*Staphylea Bumalda* Sieb. et Zucc.) モ強壯ナル枝上ニハ四—五小葉ノ葉ヲ出ス事ヲ時々見受ケルガ之レハ決シテ普通ノみつばうつぎト異ツタ品デハナイ事ヲ斷言シオク、中ニハ偶ニ菲弱ナ氣條ニモ同様ソレガ現ハレル事ガアル、又からたち、れんげうノ葉ニモ時ニ五小葉、ひめうこぎ短枝ノ葉ニハ偶ニ七—六小葉ノモノガ現ハレル、又にはとこノ葉モ強壯ナ氣條ニ出ル大形葉ニハ多少再羽狀ニ傾イタモノガ見ラル、

○斷枝片葉 (其四十二)

牧野富太郎

●いちびノ事ニ就テ再ビ述ベル

本誌第六卷第八號ノ『斷枝片葉』欄デ聊カいちびノ事ニ就テ記シテ置イタガ頃日紹述先生即チ伊藤長胤ノ著『秉燭譚』今カラ百六十六年前
寶曆十年ニ刻成卷ノ四ニ「苘麻ノ事」ト題シテ下ノ記事ガアル即チ「土佐ノ儒宦緒方宗哲談ズ國ニイチビト云モノアリ其狀如^レ麻ソノ皮舟ノ纜ニツクルベシイチビ繩ト云テ海人尤コレヲ貴ブ其種麻稗ノゴトク甚白色ナリ火ヲ炷スレバ火繩トスベシ本草ニノスル苘麻ナリト因テ本草ヲ考ニ果シテソノ通りナリ中庸綢衣ノ章ノ大ニ見レバ又作^レ纜ニテ即コノ物ナリシカレバ麻ノ一種トミエタリ後ニ人ノ話ヲ聞ケバ土州ニカギラズ海南ノ諸州ニハイチビ繩ヲ用ユトマタ藻鹽草ヲ檢スレバ苘麻トアリテイチビト訓ズ昔ノ人モヨクワキマヘシレルニコソ」デアアル、今之レヲ讀ムト同名異物ノ二ツガ混淆シ土佐ノいちびモ苘麻ノいちびト同一物ト見做サレテ居ル、先キニ書イタいちびノ條下ニ辯ジテ置イタ通り土佐デいちびト云フノハ黃麻即チつなそノコトデ苘麻ノいちびデハナイ畢竟其纖維ノ用途、形質ナドモ似テ居ルカラカタガタ此混淆ヲ來タシタモノデ前述『秉燭譚』ノ記事ハ事實ヲ誤ツテ居ル事ニ歸着スル、昔カラ盡ク書ヲ信ズレバ書ナキニ如カズト云ツテ居ルノハ書物ニモ上ノ様ナ愆ツタ記事ガアルカラデアアル

●火繩

大槻文彦博士ノ『言海』